



んな家は危ない！家の外にも危険はいっぱい。家屋の傷みや周辺の環境にも十分に注意をし、風水害に備えましょう。

## 住まいの安全対策

雨どいに土や落ち葉が詰まって、排水が悪くなっていないか。

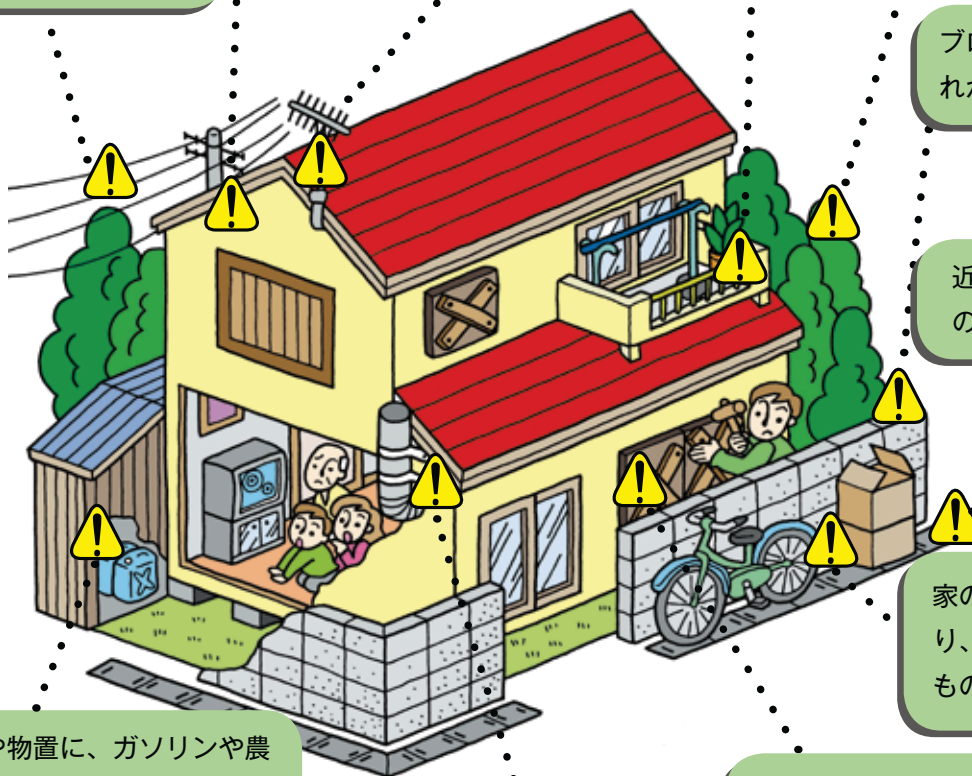
テラスやベランダに鉢植えや物干し竿など、風で飛びそうな物は置いてないか。

庭木の枝が折れかかっていたり、倒れる心配はないか。

電線がたるんでいたり、木の枝が接触していないか。

テレビアンテナに支線を張るなどの補強は万全か。

ブロック塀などにひび割れがはいてないか。



近所と協力して排水溝の整備はしてあるか。

納屋や物置に、ガソリンや農薬など、流出の危険はないか。

煙突の支持補強や屋根のトタンに破損箇所はないか。

雨戸のない窓やガラス戸に、板などを打ちつけるなど、飛来物対策は万全か。

家のまわりに飛ばされたり、破損する恐れがあるものを放置してないか。



### 家の中での注意事項

- 外出は控え、家族揃って気象情報に注意する。
- 緊急事態に備えて非常持出品の点検をする。
- 停電に備えて電池の予備の補充やラジオ、懐中電灯の準備をしておく。
- 水の貯めおきや非常食品のストックなどの用意をする。

## ■風水害に関する気象情報の種類と発令区分

気象庁では、大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときは「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」を、**重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」**を発表して注意や警戒を呼びかけます。

### 警報・注意報の種類

**特別警報** 大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮

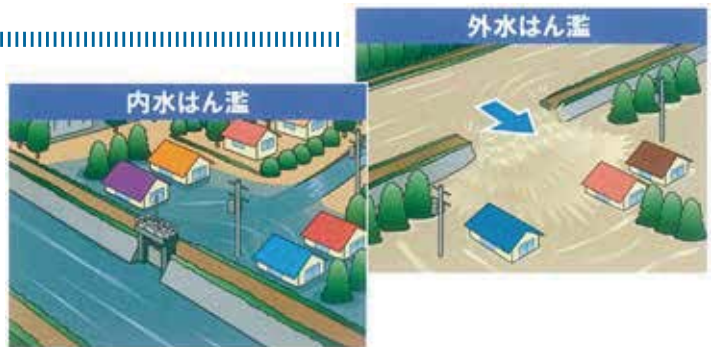
**警報** 大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮

**注意報** 大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪

## ■洪水について

### 外水はん濫と内水はん濫

洪水には、川の堤防が壊れたり堤防から水が溢れたりして発生するはん濫（外水はん濫）と、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなることにより起こるはん濫（内水はん濫）があります。まずは、洪水の発生する仕組みを理解して、あなたが住んでいる地域ではどのようなタイプの洪水が発生しやすいか確認しておきましょう。



風水害への備え

**1** テレビ、ラジオやインターネットなどで、気象情報には十分注意。



**2** ケーブルテレビ、音声告知放送や広報車などによるアナウンスをしっかりとチェックする。



**3** 大切な家財道具は、できるだけ高い安全な場所へ移動させましょう。



**4** 懐中電灯や携帯ラジオ（予備の電池も）などあらかじめ用意する。



**5** なるべく早く帰宅する。交通機関のマヒなどにより遅くなる場合は、経路や帰宅予定時刻を在宅の家族にはっきりと伝える。



**6** 非常持出品（飲料水や食料も最低3日分確保）を準備しておきましょう。



## ■台風の大きさと強さ

日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にあっています。台風情報に注意して被害を最小限に食い止める日頃の準備が必要です。

台風の大きさは「風速 15m/s（メートル / 毎秒）以上の半径」、強さは「最大風速」で表されます。

### 台風の大きさと強さの基準

#### 台風と熱帯低気圧の表現

〔最大風速〕	〔表現〕
17m/s 未満	熱帯低気圧
17m/s 以上	台風

#### 大きさの階級分け

〔階級〕	〔風速 15m/s 以上の半径〕
表現なし	500km 未満
大型（大きい）	500km 以上 800km 未満
超大型（非常に大きい）	800km 以上

#### 強さの階級分け

〔階級〕	〔最大風速〕
表現なし	17m/s 以上 ~ 33m/s 未満
強い	33m/s 以上 ~ 44m/s 未満
非常に強い	44m/s 以上 ~ 54m/s 未満
猛烈な	54m/s 以上



## ■集中豪雨

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る大雨のことで、梅雨の終わり頃によく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は比較的困難。河川のはん濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予測されます。河川やがけの付近、造成地、扇状地などは気象情報に十分注意し万全の対策をとるようにしましょう。



## ■雨の強さと降り方（1時間雨量）

やや強い雨

10～20mm未満



ザーザーと降る雨。地面一面に水たまりができ、話し声が聞きとりにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。

強い雨

20～30mm未満



どしゃ降り。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、また、がけ崩れの心配もあります。

激しい雨

30～50mm未満



バケツをひっくり返したように降る激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路が川のようになり、規制も行われます。避難の準備を。

非常に激しい雨

50～80mm未満



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。傘がまったく役にたたなくなるほどの激しい雨です。

猛烈な雨

80mm以上



息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。